

くし3の上下水道

～大切なライフラインを未来に引き継ぐために～

令和8年4月使用分から**水道料金を12.2%値上げする**料金改定をさせていただきます。
必要不可欠なライフラインを次の世代に確実に引き継いでいくため、皆さまのご理解をお願いいたします。
※下水道使用料については変更ありません。

1 上下水道事業の現状

上下水道事業では、事業を運営するために必要な維持管理のほか、近年全国各地で頻発する災害や事故への対策を強化するために、老朽化施設や管路の更新・耐震化等の取り組みを行っています。

これらの取り組みは、皆さんにお支払いいただいている上下水道料金に支えられています。

将来にわたり皆さんへ安全安心な水を届け、市民生活を守るために必要な事業に引き続き取り組んでいきます。

① 上下水道施設の老朽化の進行

【ア】愛国浄水場が新しくなります

市で一番大きな浄水場である愛国浄水場は、建設から60年以上が経過し老朽化が進んでいます。また、耐震調査の結果、大規模な耐震化が必要となっています。

将来にわたり良質な水を24時間365日休むことなく皆さんにお届けするために、浄水処理方式をこれまでの「急速ろ過方式」から「膜ろ過方式」へ変更し、地震や津波に耐えられる新愛国浄水場の建設工事を2017(平成29)年度から進めており、2026(令和8)年度に完成予定です。



▲新しい愛国浄水場の外観



▲膜ろ過設備

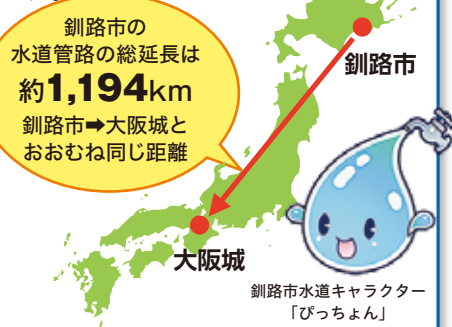
【イ】地震に強い水道管へ

市内に埋設されている水道管の内、約42%が法定耐用年数(40年)を超えており、今後も膨大な量の水道管が更新時期を迎えます。

水道管を計画的に更新するために、2021(令和3)年3月に「釧路市水道管路更新基本計画・実施計画」を策定し、漏水などが発生した際に皆さんへの影響が大きい箇所を中心に、地震に強い水道管に交換する事業を進めています。



▲水道管入れ替え作業の様子

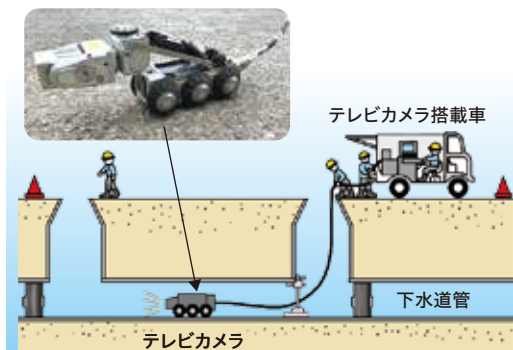


【ウ】下水道施設の更新

市内には約1,482km(2024(令和6)年度末現在)の下水道管があり、約13%が法定耐用年数(50年)を超え、今後も老朽化した管路が急増していきます。

近年、下水道管の劣化や破損が原因と思われる道路の陥没が全国各地で発生しています。

被害を未然に防止するため、老朽管のカメラ調査を実施し、調査結果を踏まえ、修繕・改築を行っています。



▲老朽管のカメラ調査



▲老朽管改築工事

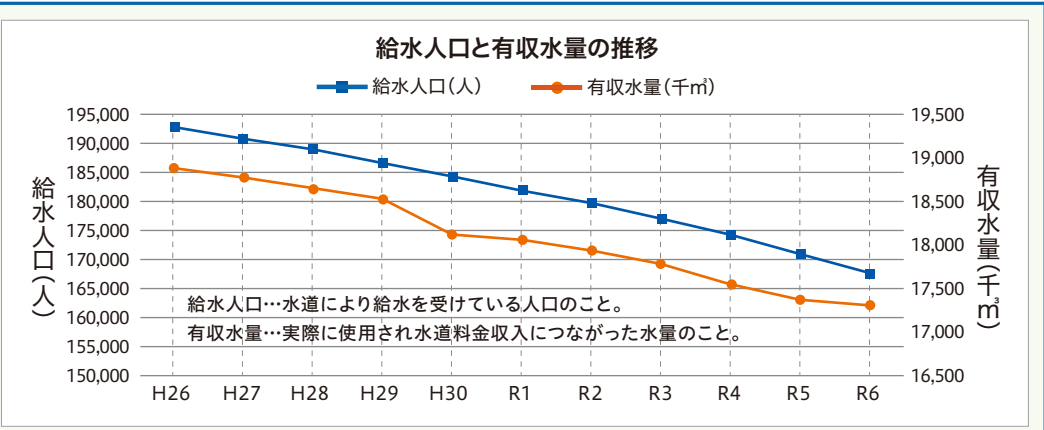
【エ】下水道管路の全国特別重点調査の実施

埼玉県八潮市での道路陥没事故を受け、国土交通省より発出された「下水道管路の全国特別重点調査」の実施要請に基づき、優先実施箇所0.861kmの下水道管を調査しました。管路内調査や空洞調査を実施し、直ちに大規模な陥没につながる破損等は認められませんでした。引き続き、令和7年度末までに優先実施箇所以外13.74kmの調査も進めていきます。

② 給水収益(水道料金収入)の減少

水道事業は、水を使用した方に負担いただいている水道料金によって賄われています。

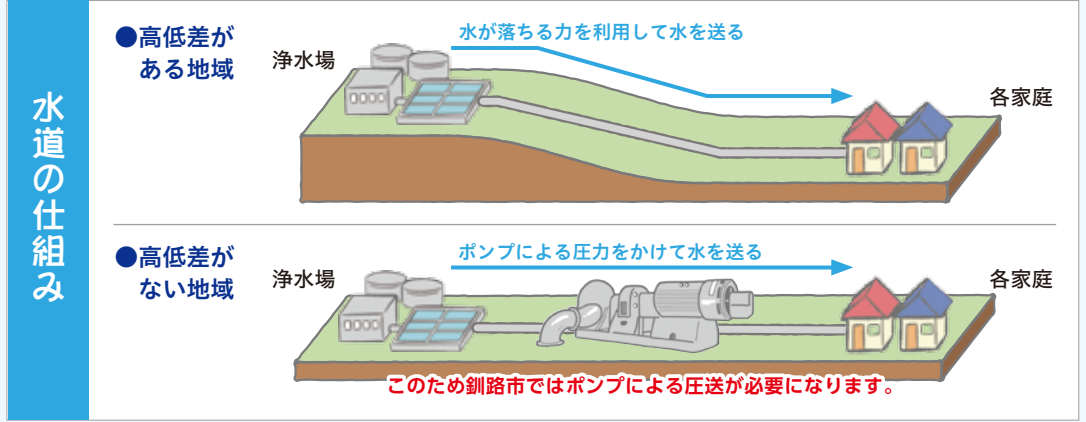
しかし、近年の人口減少等により使用水量が減り、料金収入の減少傾向が続いています。今後も現在の水道料金を維持した場合、2027(令和9)年度末には資金不足が生じる見込みです。



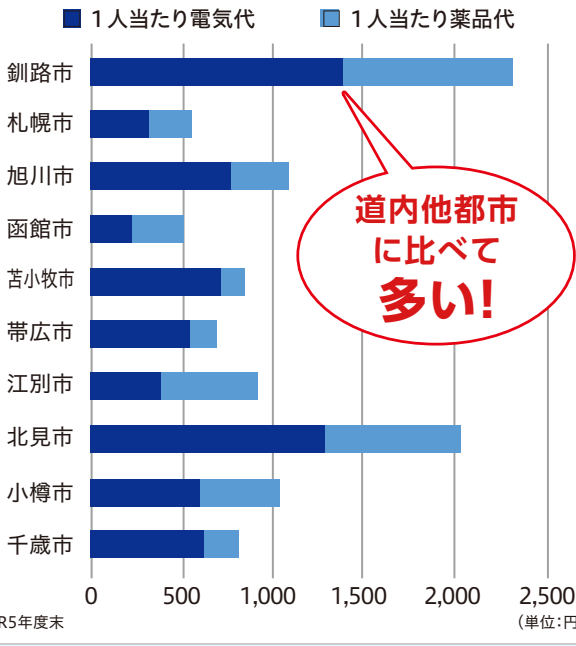
③ 釧路市の水・地形の特徴

愛国浄水場で浄水処理をしている水には多くの有機物が含まれており、処理が難しい水質です。水道水を作るには多くの薬品を使うため、薬品にかかる費用が他都市に比べて多くなっています。

また、平地が多い市街地にはポンプによる圧力で水を送るため、電気代(動力費)も多く掛かっています。



給水人口1人当たりの電気代および薬品代の比較

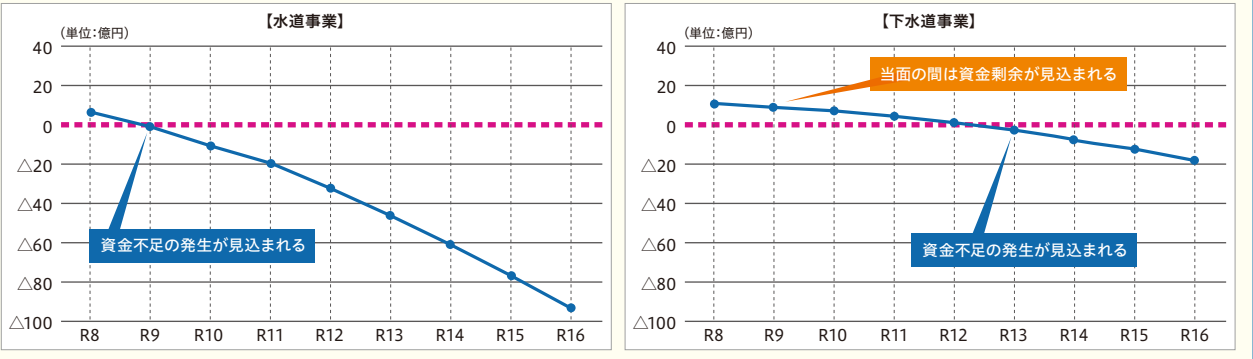


④ 釧路市水道事業・下水道事業の財政収支見通し

料金改定を行わなかった場合の財政収支見通しでは、水道事業は令和9年度には資金不足が生じ、将来的に非常に厳しい状況が見込まれています。

一方、下水道事業は当面の間は資金剰余が生じるものの、令和13年度には資金不足が生じ、将来的に楽観できない経営状況が見込まれています。

【料金改定を行わなかった場合の財政収支見通し】
資金剰余・不足額



2 上下水道料金の改定に係る方針

釧路市上下水道事業の健全な運営を図るため設置している釧路市上下水道事業審議会に対し、「上下水道事業の経営のあり方」および「上下水道料金のあり方」について2025(令和7)年1月10日に市長から諮問を行いました。

審議会では計5回にわたり諮問に対する議論がなされ、2025(令和7)年3月28日に市長へ以下の答申が行われました。

- ・今後も厳しい経営状況が見込まれることから、水道料金の値上げはやむを得ない状況である。
- ・さまざまな物価が高騰する厳しい社会・経済情勢を考慮し、改定率の圧縮に努め、市民負担の軽減に十分配慮すること。
- ・経費削減等による経営の効率化や施設更新事業の財源となる国からの補助金確保に向けた要望などの取り組みを引き続き行うなど、長期的視野に立った効率的な事業運営を図ること。
- ・下水道事業は2031(令和13)年度には資金不足が生じる見通しであり、将来の経営は楽観できる状況にはないものの、下水道使用料の改定は直ちに必要ない状況ではない。

この答申を踏まえ、上下水道料金改定に係る市の方針を以下のとおりとしました。

- ・水道料金の値上げは必要であるものの、様々な物価が高騰する厳しい社会・経済状況を考慮し、改定率の圧縮を図る。
- ・下水道使用料の改定は行わないこととする。

料金改定の 3つのポイント

- 1 水道料金を12.2%値上げ
- 2 改定率の抑制（出資制度の活用）
- 3 下水道使用料は据え置き



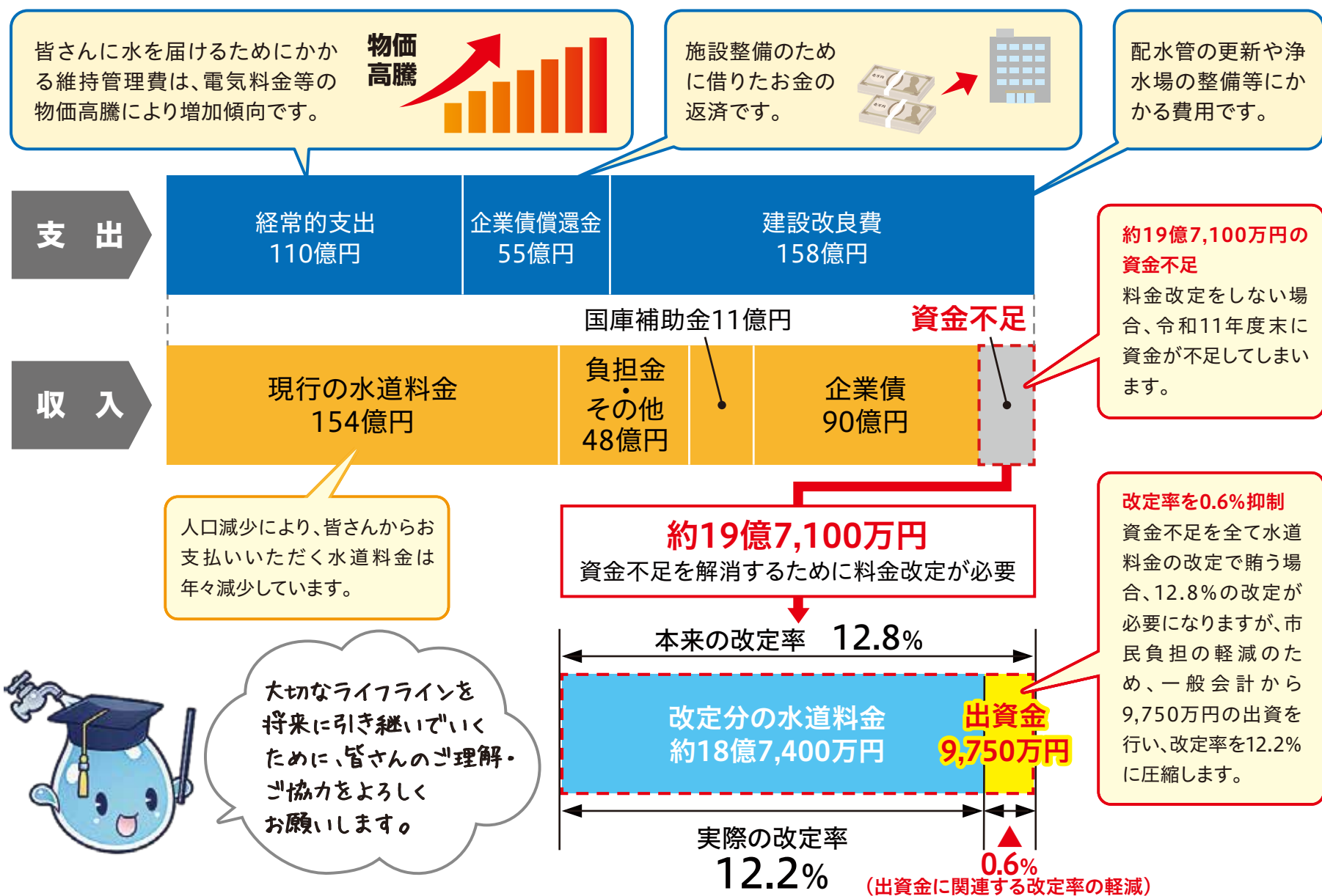
ポイント1 水道料金を12.2%値上げ

上下水道事業審議会の答申を踏まえ、2026(令和8)年4月1日使用分からの水道料金について、12.2%値上げする料金改定としました。

ポイント2 負担軽減のため改定率を抑制

水道事業では、2029(令和11)年度末までに約20億円の資金不足が見込まれています。この不足分をすべて料金改定で賄おうとすると12.8%の値上げが必要となりますが、答申を踏まえさまざまな物価が高騰する厳しい社会・経済状況を考慮し、出資制度を活用した場合の限度額となる9,750万円の出資を一般会計から行うことで、改定率を0.6%抑制します。

水道料金改定の仕組み 水道事業の事業運営に関する収入と支出(料金算定期間(令和8～11年度)の収支)



ポイント3 下水道使用料の改定は行いません

下水道事業では、2031(令和13)年度には資金不足が生じる見通しであり、将来の経営は楽観できる状況にはないものの、上下水道事業審議会からの「下水道使用料の改定は直ちに必要な状況ではない」との答申を踏まえ、下水道使用料の改定は行わないこととしました。

水道料金の現行料金と新料金の比較

1カ月あたりの家事用水道料金の現行料金と新料金の比較 (税込 単位：円)

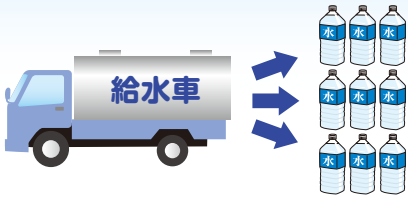


使用水量	5 ^m ³	10 ^m ³	15 ^m ³	20 ^m ³	25 ^m ³	30 ^m ³
現行料金	1,466	1,929	2,991	4,052	5,114	6,176
新料金 (令和8年4月から)	1,645	2,164	3,356	4,547	5,738	6,929
値上額	179	235	365	495	624	753

「いざ」という時に備えて、普段の暮らしから常に水を確保するようにしましょう。

復旧まで時間がかかります

災害によって断水が起こった場合、給水車が駆けつけて避難場所などで給水を行います。
しかし、給水車による給水には限界があります。



※給水所には水を入れる容器をお持ちください。
ふたの閉まるポリタンクやペットボトルなどの容器を日頃から準備しましょう。



キーワードは「1人1日3ℓ×3日分」

災害時に対する水の備えとして、「1人1日3ℓの飲料水を3日分」備蓄することを勧めています。
(首相官邸ホームページより)



水道水は、保存が可能です

水をくみ置きするときは、ペットボトル等の清潔な容器の口元いっぱいまで水道水を入れます。
直射日光を避ければ3日程度、冷蔵庫では1週間程度は飲料水として使用できます。



水をくむ⇒保存する⇒水を使うことを繰り返しながら、一定量の水を備蓄しましょう。

※水道水は、塩素の効果で雑菌等の繁殖を抑えています。
浄水器を通すと塩素の消毒効果が低くなるため、蛇口からそのまま入れてください。

釧路市公営企業管理者の就任ご挨拶



釧路市公営企業管理者
齋藤 優治

この度、令和7年10月31日付けで釧路市公営企業管理者に就任いたしました。

水道、下水道事業は、市民生活の衣・食・住に係わる重要なライフラインとして、また地域経済の営みを支えるインフラとして、日夜途切れることなく安定的にサービスを提供することで、日々の暮らしを守り、快適な生活環境を提供しております。

水道、下水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少による料金収入の減少が続く中、物価高騰の影響が依然として継続するなど、一層厳しさを増しております。また、近年では全国的に地震や豪雨による災害や上下水道施設の老朽化による道路陥没事故などが発生し、インフラの老朽化対策と耐震化の促進が喫緊の課題となっております。

こうした中であって、本市においては、課題解決に向けた愛国浄水場の更新をはじめ耐震性を有する管路更新などに計画的に取り組み、この大切なライフラインを未来へしっかりと引き継いでいくため、令和8年4月使用分から水道料金の改定を行うこととしております。将来の利用者負担の軽減のため、事務事業の見直しなど経営の効率化に職員一丸となって取り組み、持続可能な事業運営を進めて参る所存でございます。皆さまのご理解をお願いいたします。

上下水道お問い合わせ一覧

お問合せ・相談

水道・下水道に関することなら、どんなことでもお気軽にお問い合わせください。

上下水道料金お客様サービスセンター TEL 43-2161

- 水道の使用・中止・名義変更の届出について
- 水道メーターの検針や使用水量について
- 水道料金・下水道使用料について

■営業時間／午前8時30分から午後5時20分まで(日曜日・祝日を除く)
※年末年始は12月29日から1月3日まで休業 業務委託：第一環境株式会社 釧路事務所
(釧路町にお住まいの方は)
●水道……上記連絡先
●下水道……TEL 62-2190(釧路町水道課業務係)までお問い合わせください。

上下水道部 ■業務時間／午前8時50分から午後5時20分まで

夜間・土曜日・日曜日・祝日・年末年始

業務時間外

釧路市上下水道部守衛室 TEL 43-0077
阿寒町行政センター当直 TEL 66-2121 (平日は午後10時まで)
音別町行政センター TEL (01547) 6-2231 (平日は午後9時まで)

※阿寒町・音別町行政センターは土曜日・日曜日・祝日午後5時20分まで。

編集・発行／釧路市上下水道部
〒085-0841 釧路市南大通2丁目1番121号

